

日時：平成 18 年 9 月 21 日 (木) 18:30～22:00

場所：渋谷「八詩」

出席者 (敬称略)：1 町田、2 氏家、湯浅、小谷、3 上谷、4 三矢、7 香坂、高山、8 八尾、真壁、
11 岩田、12 安田、13 品田、17 神島、23 腰高、24 俵、27 古川、33 竹ノ下、
34 坂上、35 小林、36 平井、37 清水、38 松村、42 酒井、44 原、
現役 2 名 (松村・木戸) 計 27 名
(30 期代、幹事欠席でも同期への呼びかけで代理出席者多数。感謝！)

【報告事項】

1) 現役海外遠征について (岩田)

- ・ (遠征予定先の) タイでクーデターが勃発したが、落ち着きを取り戻しつつある状況なので、来週担当者で協議の上、方向性を打ち出す予定。
- ・ 現役は計 14 名 (3 年 8 名、2 年 6 名) 参加。普段の練習にきちんと出ているメンバー。
- ・ 応援団の OB は 24 名を予定。

2) 地方活性化 (香坂)

- ・ 6 月に北陸、9 月に北海道での会合を実施。甲信越地区は予定が合わず延期。現在調整中。

3) 川先を偲ぶ会 (高山)

- ・ 10 月 14 日 (土) 17:30～20:30 天現寺 幼稚舎けやきホールにて開催予定。
- ・ 全体で約 340 名、楽籠からは 55 名が参加予定 (最大派閥の由)。
- ・ 当日、15:30 から圓福寺墓参を実施。OB で希望者は事前に申し出た上で参加可能。
- ・ 前回幹事会の確認通り、OB 会より、50 周年川先記念酒を 100 本寄贈 (予算 150,000 円)。

4) 「焚き火」 (湯浅)

- ・ 第 5 回楽籠市場が終了。一部商品は通年で受け付け中。この間の AMNET の利用はなし。

5) 現役活動報告 (主務・松村)

- ・ 夏合宿を尾瀬で実施、無事終了。合宿後に早稲田のサークルと練習試合をし、勝利。現在は秋の連盟に向けて調整中。

6) 50 周年記念イベント収支報告 (高山)

- ・ 最終的に剰余金 79,830 円を特別会計に組み入れる。

【議題事項】

1) 各代幹事の選任・交代について (事務局・神島)

- ・ 別紙資料 (幹事会参加状況) を参照すると、幹事会に出席する代が固定化している。幹事会に必ず出席するかどうかはともかく、OB 会の各代幹事として「Alive」な状態でいて頂けることを働きかけて行きたい。
- ・ まずは会の議事録などを手がかりとして情報を共有し、前後の出席していない代の幹事に呼びかけをすところから始める。
- ・ 実情に応じて幹事を交代する。その意味で、13 期は品田、27 期は古川を幹事とする。

2) 監査役の位置づけについて (事務局)

- ・ 前回の幹事会終了後に、監査役の位置づけや役割などについて明確化すべきという意見があった。会則を参照すると、事務局の構成については明記されていない。そこで当面、事務局の一員としての監査役の役割は「会計のチェック」という位置づけであることをあらためて確認。

3) S O熊本大会のコーチ派遣と寄付について (湯浅)

- ・ 今年度の東京代表のコーチとして、OB会員の竹内・原が決定。現在活動中。
- ・ 2005年3月のOB総会で、OB会全体としてS Oを支援していくことを決定済み。
- ・ 大会参加の交通費・宿泊費は、コーチ一人あたり約60,000円。うちS O本部からの補助は45,000円なので、不足分の15,000円の2人分30,000円をOB会費から補助したい。
→全会一致で了承。
- ・ あわせて、大会自体への寄付を30,000円お願いしたい。→検討
→反対意見：一度寄付をすると歯止めがきかなくなる。OB会としてではなく、(例えば今ここにいる)個人すべきもの。
→賛成意見：OB会費を社会的に有意義なものに使う発想を大切にすべき。OB会の総意としてS Oの活動を応援していくことは決定しているはず。
- ・ 最終的に、バスケットボール以外のイベントには寄付をしないが、今回の大会に限り、OB会として寄付することを多数決で決定。

4) 年会費問題における大原則とルールについて (事務局・腰高)

- ・ 会費引き落とし状況：約25%の人が、何らかの形で引き落とし不能。ただし、現在自動振り込み不調者に向けて登録用紙を送付しており、未納者の割合はもう少し減る。
- ・ 別紙資料(年会費問題に関して)の考え方にに基づき意見交換をし、方向感はおおむね共有できたので今後の対応に向かうが、考慮すべき意見として以下のようなものもあり、各代幹事を中心に、会員諸氏に理解を求めて行く動きをとっていくことを確認した。

<主な意見>

- ・ 同期の中での納入状況や、未納の場合の理由が十分に把握できていない→幹事の役割として、各代の状況を把握してもらう。
- ・ 地方在住者や海外赴任者が会費を払うメリットが感じられない→国内では「地方活性化委員」が機能している。また、海外在住者は基本的に支払いを免除する。
- ・ 会費自体を段階的にする、もしくは下げるべきでは→今までの経緯(6,000円を倍額にアップ)をふまえると、逆行することにはあまり意味がない。
- ・ とりあえず、ここで話された内容を、議事録などを通して(メールや掲示板を用いて)、できる限り多くの人に伝えていくべき。

備考) 特に議題1)と4)に関して

この議事録を読んでもらった方で、内容に関してご質問やご意見のある場合には、

匿名をご希望の方は、各代幹事(連絡先が不明であれば事務局)まで
名乗り出て意見をぶつきたい方は、本HPの掲示板まで

それぞれご返信下さい。

せっかくのHPですので、皆様のご意見で活発な意見交換がなされることを願っています。
ご協力をお願いいたします。